

新たな野球場の整備について

豊橋総合スポーツ公園 B 地区における新たな野球場の整備について、市民説明会や防災を専門分野とする学識者に、基本設計までの内容に関し、意見を伺いました。

(意見の詳細は、HP(<https://www.city.toyohashi.lg.jp/60972.htm>) 参照)



【市民説明会・学識者の意見聴取】

- 市民説明会： 9月5日、7日(参加者 194 名)
- 学識者4名への意見聴取： 10月8日～11月14日

【市民説明会の主な意見】

- 野球の競技環境が不足しているため早く整備を進めてほしい。
- 災害リスク(津波や液状化)のある地域での整備は反対
- 避難時の水や食料などの備蓄が必要
- 建設コストの縮減が必要

【学識者の主な意見】

- 災害リスクを極小化するため、施設の整備計画と避難計画をセットで策定する必要がある。
- 避難者が滞留する前提で水や食料や携帯トイレなどを備蓄し、夜間に被災し停電する場合を考慮し、非常用電源を設置するとよい。
- 津波火災が起こり得る前提で対策を考え、津波による浮遊物を考慮し、緩衝として盛土の上端から施設までの距離を確保するなど検討するとよい。
- 粘性土層についても沈下の可能性を検討し、液状化対策としての地盤改良は、十分な効果を得るために液状化が考えられる層より深い位置まで行った方がよい。
- 施設の利用は、災害時の避難者の収容可能人数を上回ることがないように人数の制限など設けるとよい。

学識者からいただいた意見は、今後の検討において豊橋総合スポーツ公園B地区で対応が可能な範囲のものでした。

そこで、本市としましては、学識者の意見を反映し、安全性を高め、豊橋総合スポーツ公園 B 地区での新たな野球場の整備を進めてまいります。